



暮らしと風景をまもる

初崎堤防事業に本格着手！



国土交通省中村河川国道事務所は、堤防がなかった四万十市初崎地区の堤防工事に平成29年度から本格的に着手しました。洪水や高潮、南海トラフ巨大地震発生時に想定される津波から地域を守るため、工事を進めています。



工事着手前の初崎地区



堤防の基礎となる部分を施工し…



徐々に高さを上げていきます

幡多地域生態系ネットワークシンポジウムを開催

国土交通省中村河川国道事務所は、幡多地域におけるネットワークの形成により、貴重な生態系を保全し地域の魅力・活力を高めるための取り組みが推進できるよう、平成30年1月13日(土)に四万十市においてシンポジウムを開催しました。

基調講演では、兵庫県豊岡市より、官民連携によるコウノトリの野生復帰の取り組みが地域活性化につながった事例について紹介頂きました。その後、幡多地域の黒潮実感センター(大月町)、砂浜美術館(黒潮町)、トンボと自然を考える会(四万十市)より、生態系の保全に向けた協働の取り組みや自然(資源)を活用した地域への貢献等について紹介頂き、幡多地域の貴重な自然を再認識し保全していくことの重要性を共有しました。

また、パネルディスカッションでは、「地域と共生する魅力的な地域づくり」をテーマに意見交換を行い、多様な主体による協働の形づくりの方向性など、魅力ある地域づくりに向けた論議がスタートしました。



編集・発行

国土交通省 四国地方整備局 中村河川国道事務所
〒787-0015 四万十市右山 2033-14
TEL 0880-34-7301(代)
URL <http://www.skr.mlit.go.jp/nakamura/>

国土交通省 四国地方整備局 中筋川総合開発工事事務所
〒788-0783 宿毛市平田町戸内 1692-1
TEL 0880-66-0142
URL <http://www.skr.mlit.go.jp/nakasuji/>

高知県 土木部河川課
〒780-8570 高知市丸ノ内 1-2-20
TEL 088-823-9838
URL <http://www.pref.kochi.lg.jp/>

四万十川ニュースレター vol.6

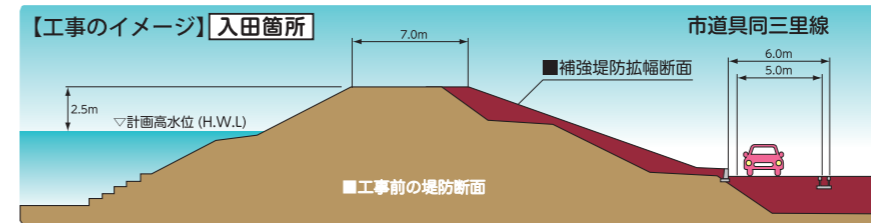
四万十川に関する様々な情報をお伝えします

国土交通省四国地方整備局と高知県では、平成27年2月に共同で策定した「渡川水系河川整備計画」に基づき、関係住民の皆様や学識経験者の方々、関係市町村等とのよりいっそうの連携・協働を図りながら、鋭意、河川整備を推進しています。また、河川整備の具体的な実施内容や進捗状況を、このニュースレターを通じて皆様にお知らせしています。

暮らし・文化・笑顔をささえる 具同・入田地区の堤防が大きく、強くなります！

国土交通省中村河川国道事務所は、堤防の断面が足りていなかった四万十市具同・入田地区の堤防の拡幅工事を進めています。入田地区は平成29年3月に完了、具同地区についても平成30年度に完了します。これにより、現在想定されている洪水を安全に流下させることができるようになります。

この事業では、市道具同三里線、具同坂本線の道路の幅も広げており、車や人が安全に通行できるようになります。



完成した入田箇所をクローズアップ!!

●堤防の幅が広がり、洪水に対してより強く！



●道幅が狭かった市道も広がり、より安全に！



工事の実施にあたっては、具同・入田地区の皆様にご多大なご協力を頂くとともに、工事中は当箇所を利用されている皆様にご不便をおかけしております。地域の安全は皆様のご協力により守られています。



渡川水系河川整備計画とは

渡川水系河川整備基本方針(平成21年2月9日策定)に基づき、四万十川、後川、中筋川の総合的な管理ができるよう河川整備の目標および実施に関する事項を定めたものです。その対象期間は、概ね30年間としています。

渡川水系河川整備計画の基本理念

- 安全で安心な生活を営むことができる川づくり
- 恵まれた自然を育む清流としての川づくり
- 次世代に誇れる豊かな川づくり

横瀬川ダムの工事が進んでいます

国土交通省中筋川総合開発工事事務局が中筋川の支流である横瀬川に建設している横瀬川ダムで、平成29年12月3日、定礎式を行いました。

式典には、土地を提供して下さった方々をはじめとする地元関係者や国会議員、高知県、四万十市、宿毛市及び工事関係者など約200人が出席し、ダムの永久堅固と安泰を祈願しました。

空から見た定礎式の様子



定礎を祝って万歳三唱



メモリアルストーン



コンクリートを流し込む様子を実演

横瀬川ダムでは、平成29年5月10日に初打設を行い、ダムの型になるよう、コンクリートを順次流し込んでいます。平成30年3月1日時点で高さ72.1mのうち32.0m(全体コンクリート量の約35%)まで工事が進んでいます。

また、平成29年は約1,700人の方に工事現場の見学にお越し頂きました。引き続き、平成30年度の完成に向けて、工事関係者一丸となって取り組んでいきます。

工事の様子を一挙公開！



LOOK UP!! もっと知りたい横瀬川ダム



- 建設現場に見学所を開設中！パネルで学んだり、工事の様子を一望できます。詳しくはホームページをご覧ください。
<http://www.skr.mlit.go.jp/nakasuji/kouji/kengakusyo.pdf>
- 工事について紹介する絵本もあります。
<http://www.skr.mlit.go.jp/nakasuji/kouji/ehon.html>



再生されつつある四万十川・中筋川環境

地域で取り組む「ツルの里づくり」～4年ぶりにツルが越冬～



平成29年の秋から翌年にかけて、中筋川沿いの平野でツル類が4年ぶりに越冬しました。

国土交通省中村河川国道事務所は、四万十川自然再生事業の一つである「ツルの里づくり」として、中筋川の中にツルのえさ場やねぐらとなる湿地を再生したり、小川や水路が中筋川に流れ込む場所にある樋門の段差をなくし、ツルの餌となる小魚などが小川や水田地帯の水路と中筋川を自由に行き来できる環境の再生を行ってきました。また、地元でえさ場づくりなど越冬地づくりや環境保全に取り組んでいる「四万十川の里づくりの会」とも協働して小中学生への環境教育などにも取り組んでいます。

このような取り組みを行ってきた中筋川流域でツル類が越冬したことは、10年以上にわたる官民協働の取り組みの成果といえると思います。



間箇所に整備した湿地



ツルの自然体験学習会



越冬したツル類

四万十川での「魚のゆりかごづくり」

～早くもたくさんの生き物を確認～



実崎箇所に整備したワンド (池のような形をしています、下流側で四万十川とつながっています)

たくさんの魚の赤ちゃんのすみかとなる「コアマモ」という水草が生える環境を再生するため、中村河川国道事務所が四万十川の実崎箇所に整備していた「ワンド」と呼ばれる流れの緩やかな浅場が、平成29年6月に完成しました。

完成後には、ワンドに「魚のゆりかご」となるコアマモ場ができることを願って、地元の小学生と一緒に四万十川に自生するコアマモを移植しました。また、生き物観察では、完成直後でありながら、高知県でごく近い将来において野生での絶滅の危険性が高いとされている魚など、たくさんの生き物が確認されました。



コアマモの移植



一生懸命に土を掘り、ていねいにコアマモを植えました。



移植したコアマモ

ワンドの生き物観察



子どもたちの視線の先には…



チゴガニ



チワラスボ

こんな生き物たちが!!